



▼5月17日  
お芋さん大きくなってね



小富士保育所の園児は、伊予高校3年生と一緒にサツマイモを植えました。園児はお兄さんお姉さんの手を引っ張り、我先にと畑の中へ入り、たくさんの種芋を丁寧に植えました。「秋には大きなお芋になるよ」と優しく教えてもらおうと、園児たちはニコリ。期待を込めてたくさん水をあげていました。これからも草引きや水やりを行い、成長を見守っていきます。

▼5月12日  
新鮮な魚をプレゼント



松前遊漁船組合(三好一榮代表)は、瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと、和楽園と鶴寿荘にハマチ、ホゴ、アジやメバルなどを贈りました。贈られたのは、当日の朝に組合員が松山沖で釣ったばかりの魚。

入所者の皆さんは、その種類と数の多さに大喜び。魚は刺し身や煮付けなどにして、皆さんでおいしく食べたそうです。

▼5月3日  
松前港まつり大盛況



松前町漁業協同組合青年女性部主催の「松前港祭り」は、瀧姫神社周辺で開催されました。鮮魚の販売、マグロの解体ショーや魚のつかみ取りなどが行われ、大勢の家族連れが訪れました。魚のつかみどりに参加した子どもたちは、歓声をあげながらタイヤやハマチなどを元気に追いかけていました。初めて参加したという松田蒼空くん(松前小2年)は楽しかった。また来年もつかまえたい」とはしゃいでいました。

▼4月24日  
園児がレンゲ畑に大喜び



子どもたちに自然との触れ合いを楽しんでもらおうと、池内力さん=神崎=は、二名保育所と小富士保育所の園児を農地に招待しました。

ぼかぼか陽気の中、保育所から歩いてきた園児たちは少し疲れた表情でしたが、ピンク色の畑を見て大喜び。満開のレンゲの中で地域の人と一緒に花摘みをしたり、寝っ転がったりして、元気いっぱい自然との触れ合いを楽しんでいました。

▼5月20日  
南北黒田合同で防災訓練



南黒田、北黒田両地区の住民が合同で、津波を想定した避難訓練を行いました。地区をまたいだ訓練は町内で初めてのこと。

約400人の参加者は、自宅周辺の1次避難所に集まった後、町指定避難所の伊予高校の屋上まで集団避難。たどり着くまでの時間や道路状況などを確認し、到着後はグラウンドや武道場で、初期消火、応急救護や心肺蘇生法などを学びました。

▼5月16日  
重信川に稚アユ放流



重信川漁業協同組合(本多義雄代表理事組合長)は、重信川流域13カ所でアユの稚魚約7万5000匹を放流しました。

出合橋の河川敷では、若葉保育所の園児20人が、約3600匹の稚魚(約30センチ)を川に放流。子どもたちは、バケツに小分けした約10センチのアユを川に放ちながら「元気でね」と大きな声を掛けていました。

▼5月8日  
祖父母とこいのぼり作り



宗意原保育所でこいのぼり集會が行われ、園児が祖父母や老人クラブの皆さんと交流しました。まずはおじちゃんおばあちゃんと協力して、こいのぼりを制作。似顔絵を描いたり、折り紙で飾り付けをしたり、みんなで工夫して世界に一つのコいのぼりを完成させ、園庭に揚げました。

最後はみんなで、大空を自由に泳ぐこいのぼりの下、バルーン遊びを楽しみました。

▼5月3日  
ちびっこ力士に声援



北川原の「春祭り」は、沖神社で行われ、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。

園児から小学生までが参加した子ども相撲では、子どもたちの元気な取組に、見守る観客から大きな声援が送られていました。子ども相撲のほか、バザーやくじ引きでは、地元の中学生がスタッフとして参加。中学生らは揃いの法被を着て、活躍しました。